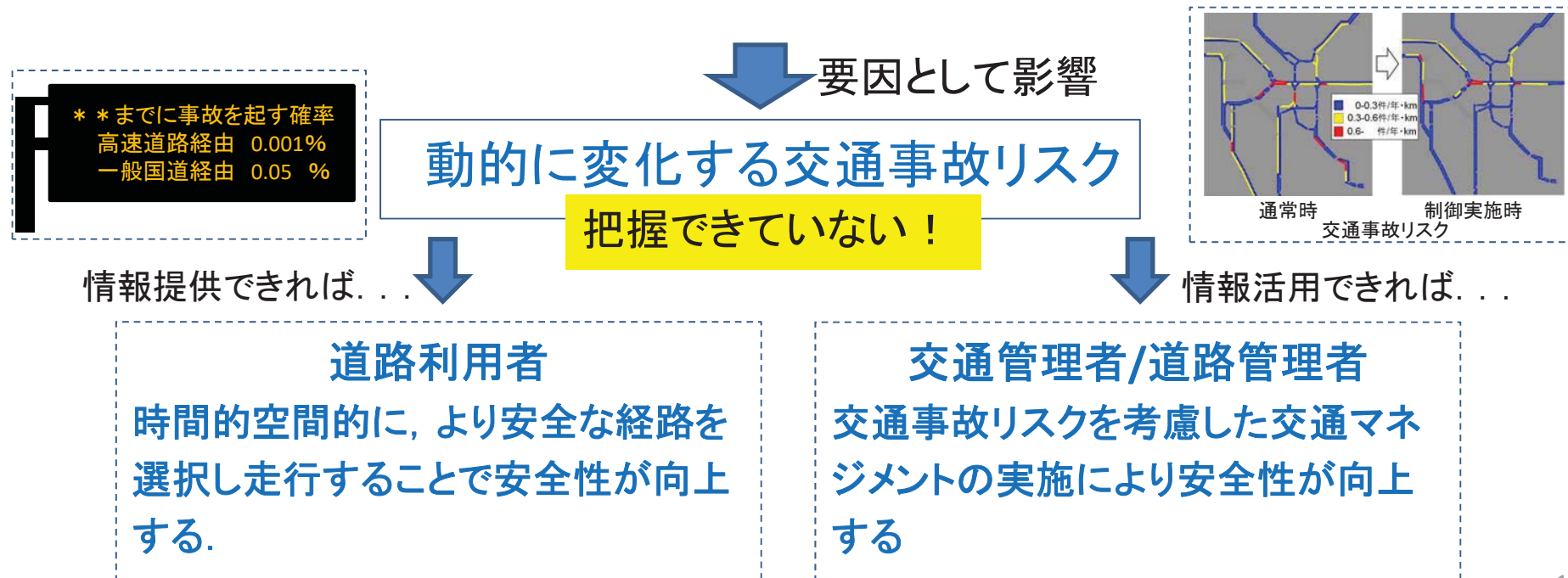


# 交通事故リスクマネジメント手法の研究開発

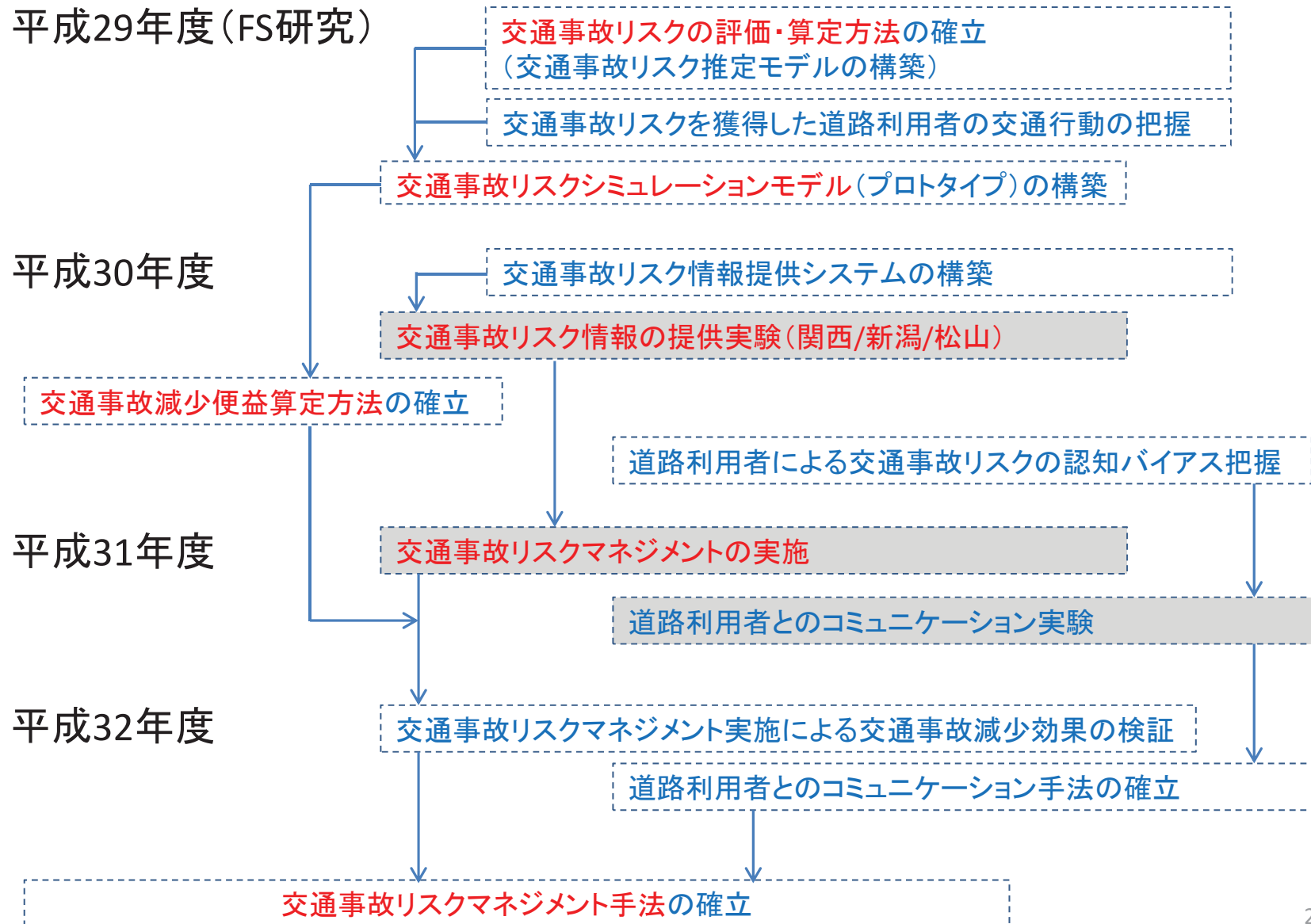
研究代表者: 愛媛大学 吉井稔雄

## 1. 研究の背景・目的

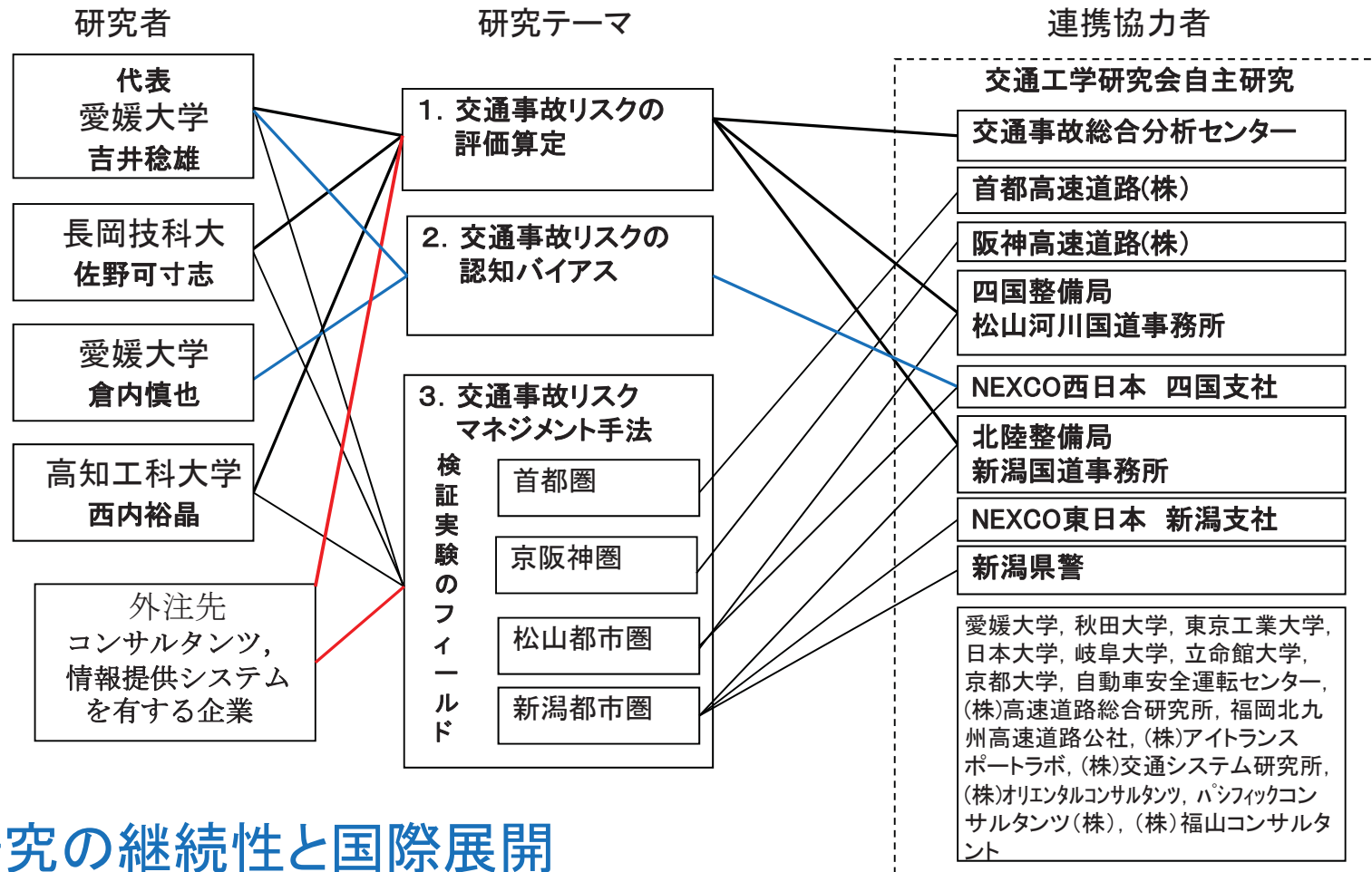
- ・交通流状態(渋滞/非渋滞)
- ・道路環境(土地利用状況, 天候, etc)
- ・運転者属性(年齢, 性別, 運転頻度, etc)



## 2. 研究概要



### 3. 研究の実施体制



### 4. 研究の継続性と国際展開

交通事故リスクマネジメント手法の有効性が検証された後には、ETC2.0データと全国的に整備された事故データを用いて、同手法による交通マネジメントを全国に拡大して実施することができる。

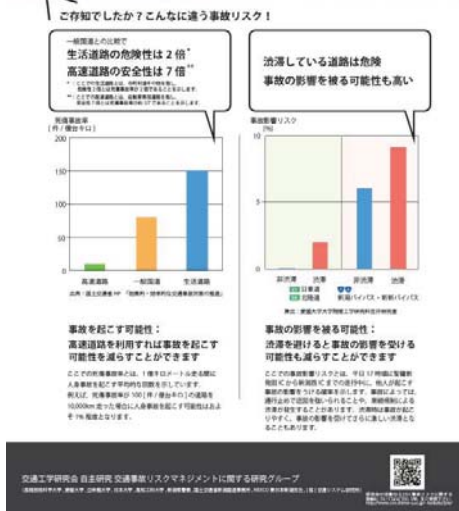
東南アジアの各国をはじめとする交通事故リスクの高い国において、安全性向上のために交通事故リスクマネジメントの導入を図る。本研究では、人口あたりの交通事故死者数がアジア1位(世界3位)のタイにおいてシンポジウムを行う。

# 5. 研究の進捗状況

## 交通事故リスク情報提供システム

## 交通事故リスクシミュレーション

## 交通事故リスクの評価算定



カーナビによる  
事故リスク情報を加味した推奨経路の提供  
阪神都市圏交通事故リスクマネジメント研究会  
<http://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/driver/safety/accidentrisk.html>

新潟都市圏における交通事故リスクシミュレーション



事故リスク算定結果の広報ポスター

事故リスク情報の提供

新潟都市圏事故リスクマネジメント研究会  
<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~keikaku/jste/outcome1.html>